

# 1.年齢階級別退院患者

平成27年度に当院を退院された患者さまを10歳刻みの年齢階級別に集計しています。

年齢階級(歳)	0歳代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
退院患者数(人)	263	99	99	159	282	507	1235	1597	1253	316

全体で見ると高齢化の影響で60歳以上の患者さまが多く75%を占めています。

## 2.診断群分類別患者数(診療科別患者数上位3位まで)

症例数の多いDPC14桁分類(DPCコード)を各診療科別に集計しています。

### 【内科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
100070xxxxxxxx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	84	13.61	15.35	0.00%	65.15
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)手術なし 手術・処置等2なし	60	12.08	14.34	1.67%	78.52
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	30	17.63	13.64	6.67%	73.87

内科では2型糖尿病の患者さまが最も多くなっています。血糖コントロールのための糖尿病教育を行なっています。

### 【消化器内科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
060370xx99x00x	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く。)手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	34	8.56	12.76	0.00%	63.85
060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 手術・処置等2なし	32	9.16	9.20	0.00%	72.81
060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)その他の手術あり 手術・処置等2なし	30	14.07	11.98	0.00%	75.50

消化器内科では消化器官がなんらかの病気にかかった際に、合併症としておきる腹膜炎の患者さまが多くなっています。次いで早期胃癌に対する粘膜下層剥離術(ESD)を目的とした入院となっています。

### 【循環器科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	194	3.73	3.07	0.00%	71.86

050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-2あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	91	3.21	3.22	0.00%	72.87
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1-なし、1,2あり 手術・処置等2なし	88	5.10	4.87	0.00%	71.56

循環器科で最も多い症例は、狭心症などに対する治療前・治療後の心臓カテーテル検査のための入院です。2番目に多いのは血管内超音波検査等を用いて心臓カテーテル検査を行った症例となっています。

【小児科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	53	4.13	6.17	0.00%	0.00
100380xxxxxxxx	体液量減少症	50	5.82	9.18	0.00%	3.00
040130xx99x0xx	呼吸不全(その他) 手術なし 手術・処置等2なし	43	6.42	11.26	4.65%	2.81

小児科では妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害が最も多くなっています。その主な疾患は新生児黄疸です。

【外科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
060040xx99x60x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-6あり 副傷病なし	66	3.61	4.51	0.00%	69.98
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-5あり 副傷病なし	46	3.41	4.53	0.00%	68.02
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	40	12.20	9.17	2.50%	69.90

外科で最も多い症例は直腸癌になります。手術後、化学療法のために計画的に入退院を繰り返している患者さまです。同様に手術後、化学療法のために計画的に入退院を繰り返す大腸癌の患者さまが2番目となっています。

【整形外科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	73	46.14	28.70	21.92%	82.77
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし 副傷病なし	41	46.44	21.52	0.00%	81.76
070230xx01xxxx	膝関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	35	38.43	27.21	0.00%	76.40

整形外科では大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折等の高齢者骨折を始めとした外傷疾患が多くなっています。

【形成外科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし	6	3.17	4.38	0.00%	48.50
070010xx010x0x	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	6	6.17	6.14	0.00%	61.00
03001xxx01000x	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	5	3.60	12.32	0.00%	82.60
03001xxx97x00x	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	5	7.00	10.23	0.00%	82.60

形成外科では皮膚の良性腫瘍に対する皮膚、皮下腫瘍摘出術、骨軟部の良性腫瘍に対する四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術を行った症例が形成外科全症例56症例の約20%を占めています。

【脳神経外科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
010060x099030x	脳梗塞(JCS10未満)手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-3あり 副傷病なし	51	26.73	18.08	29.41%	73.22
010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満)手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	19	21.21	19.32	36.84%	68.58

160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	16	11.81	7.52	0.00%	61.06
----------------	-------------------------------	----	-------	------	-------	-------

脳神経外科では脳卒中の急性期病変、特に脳梗塞の入院が多くなっています。  
脳保護療法としてエダラボン(ラジカット)を用いた療法が脳神経外科全症例291症例の約17%を占めています。

【産婦人科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
12002xxx03x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮内膜搔爬術 手術・処置等2なし	26	1.35	2.59	0.00%	56.00
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	15	13.13	10.18	0.00%	48.60
120150xx99xxxx	妊娠早期の出血 手術なし	14	7.43	13.18	0.00%	30.29

産婦人科では子宮頸・体部の悪性腫瘍を疑う1泊2日の検査入院が多くなっています。

【耳鼻咽喉科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	18	7.50	7.76	5.56%	54.89
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	15	6.20	5.31	0.00%	67.60
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	15	7.93	8.20	0.00%	17.80

耳鼻咽喉科では慢性副鼻腔炎が多くなっています。  
平均年齢が比較的若年層に多い疾患となっています。

【皮膚科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし	6	9.33	11.97	0.00%	77.00
161070xxxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 副傷病なし	5	2.00	3.58	0.00%	49.60
160610xx99xxxx	四肢筋腱損傷 手術なし	3	7.00	13.81	0.00%	70.67

皮膚科では急性膿皮症が多くなっています。その主な疾患は蜂窩織炎です。高熱を伴い、外来治療では十分な治療を行えない患者さまの入院治療を行なっています。

【泌尿器科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
11012xxx040x0x	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき) 手術・処置等1なし 副傷病なし	63	2.08	2.89	0.00%	60.17
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	57	10.19	7.59	0.00%	72.28
110080xx9902xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-2あり	25	32.04	30.83	0.00%	71.24

泌尿器科では上部尿路疾患が多くなっています。腎結石や尿管結石に対し1泊2日で体外衝撃波腎・尿管結石破砕術を行なっています。次いで膀胱の悪性腫瘍に対する経尿道的手術を行なっています。

【麻酔科】

DPCコード	名称	症例数	平均在院日数		転院率	平均 / 年齢
			自院	全国		
010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2なし	2	14	14.25	0.00%	63.00

麻酔科では遺伝性ニューロパチーの治療を行なっています。主な疾患は末梢神経障害です。

### 3.初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

現在、日本で最も多い5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の人数を初発のUICC病期(ステージ)分類別、及び再発に分けて集計しています。

部位	UICC病期分類(ステージ)(初発)					再発
	I	II	III	IV	不明	
胃癌	25	8	34	23	65	27
大腸癌	18	10	39	11	155	29
乳癌	16	7	8	2	18	12
肺癌	0	0	1	5	14	2
肝癌	5	5	0	0	21	39

UICC分類第7版

※UICC病期(ステージ)とは、がんの進行状態を占め右ものであり、0期からIV期の5つに分類されます。  
0期に近いほどがんが小さくとどまっている状態であり、IV期に近いほどがんが広がっている状態となります。

当院では大腸癌の症例が多く、次いで胃癌、乳癌となっています。  
内視鏡的治療、腹腔鏡下治療、化学療法、放射線療法を行なっています。  
また、肝癌の再発には血管塞栓術や薬物療法を行なっています。

## 4.成人市中肺炎の重症度別患者数等

成人市中肺炎の患者さまの人数を重症度別に集計しています。  
重症度は成人市中肺炎診療ガイドライン(日本呼吸器学会)による重症度分類システム(A-DROP)を用いて分類しています。

○成人市中肺炎  
普段の生活の中でかかる肺炎のことです。

	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度0	5	12.00	69.60
重症度1	36	12.17	79.11
重症度2	46	14.17	84.52
重症度3	18	13.72	82.67
重症度4	3	40.33	87.33
不明	4	22.00	75.50

患者数が多いのは中等症から重症の患者さまとなっています。  
平均年齢が後期高齢者の年齢層になっており、成人市中肺炎は高齢になるほど重症化していることがわかります。

## 5.脳梗塞のICD別患者数等

脳梗塞の病型別の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を集計しています。

最も医療資源を投入した傷病名の脳梗塞ICD-10コードの上3桁で集計しています。

ICD10分類	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	15	11.87	68.53	6.67%
		その他	0	-	-	-
G45\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	0	-	-	-
		その他	0	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	91	32.12	75.44	35.16%
		その他	7	49.86	75.43	28.57%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	2	16.50	71.00	0.00%
		その他	12	12.00	73.42	8.33%
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	1	4.00	71.00	0.00%
		その他	4	20.25	78.00	25.00%
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0	-	-	-
		その他	1	3.00	60.00	0.00%
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	0	-	-	-
		その他	0	-	-	-

脳梗塞入院は国際統計分類として、I63\$(脳梗塞)と分類されます。発症3日以内の急性期脳梗塞が集計対象全体の68%を占めています。急性期脳梗塞の患者さまの平均年齢は75歳で高齢者の方が多くなっています。平均して40日間程度の入院期間で治療とリハビリを行ない半数以上の方が自宅もしくは施設に帰られています。

## 6. 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

診療科別に手術症例数の多い上位3症例について、主要手術の平均術前日数、平均術後日数などを示したものです。

○Kコード

手術術式の点数表コードです。

### 【内科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K610-3	内シャント設置術	16	9.25	15.63	6.25%	68.25
K635-3	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	5	1.80	19.60	0.00%	54.00
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	5	21.40	26.40	40.00%	75.60
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	5	0.20	5.80	0.00%	61.00

内科では人工腎臓導入による内シャント設置術、腹膜灌流導入による連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術が主な手術となっています。

### 【消化器内科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	159	0.11	1.26	0.00%	68.51
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)	39	3.15	8.103	0.00%	72.92
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	35	3.74	10.40	0.00%	74.49

消化器内科では大腸ポリープや大腸腫瘍による内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術を最も行なっています。次いで早期胃癌に対して早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術を行なっています。

【循環器科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他のもの)	85	2.26	3.99	0.00%	72.12
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術(心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの)	58	2.17	5.29	0.00%	67.19
K5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)	41	4.49	8.85	2.44%	80.88

循環器科では虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症など)に対する経皮的冠動脈ステント留置術、心房粗細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術といった心臓カテーテル治療の症例が多くなっています。

【小児科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7151	腸重積症整復術 非観血的なもの	2	0.00	3.00	0.00%	1.00
K9131	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	1	0.00	5.00	0.00%	0.00

小児科の入院症例で手術として扱われるものは腸重積症に対する、高圧浣腸を用いた非観血的整復術や、仮死状態で出生した新生児に対する蘇生術などがあります。

【外科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	41	2.24	8.51	0.00%	64.24
K6335	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	37	0.92	6.32	0.00%	71.03
K6113	抗悪性腫瘍剤静脈・腹腔内持続注入埋込カテ設置(頭頸部その他)	34	0.68	6.00	0.00%	67.35

外科では胆嚢炎や胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術が最も多く、次いで鼠径ヘルニア手術となっています。

【整形外科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0461	骨折観血的手術(肩甲骨、上腕、大腿)	59	4.17	40.42	18.64%	80.10
K0821	人工関節置換術(肩、股、膝)	55	1.45	35.64	0.00%	72.76
K0462	骨折観血的手術(前腕、下腿、手舟状骨)	43	2.14	39.56	2.33%	65.26

整形外科では骨折観血的手術が大半を占めています。次いで人工関節置換術となっています。

【形成外科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	10	1.60	2.60	0.00%	75.50
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹)	5	0.80	4.80	0.00%	59.00
K013-21	全層植皮術(25cm <sup>2</sup> 未満)	4	1.00	5.50	0.00%	80.50

形成外科では皮膚の悪性腫瘍切除術や軟部腫瘍摘出術を行なっています。

【脳神経外科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング(1箇所)	11	0.55	37.18	27.27%	59.36
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	10	1.40	21.40	20.00%	80.50
K145	穿頭脳室ドレナージ術	8	0.13	42.00	62.50%	66.25
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術(その他のもの)	8	6.50	23.63	0.00%	59.00

脳神経外科では脳動脈瘤の破裂を防ぐため、瘤内に血流を遮断する脳動脈瘤頸部クリッピングを最も行なっています。次いで、慢性硬膜下血腫に対する慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術を行なっています。

【産婦人科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K861	子宮内膜搔爬術	44	0.16	0.25	0.00%	51.55
K9091	流産手術 妊娠11週までの場合	11	0.18	1.09	0.00%	32.91
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(開腹によるもの)	11	1.00	7.91	0.00%	40.45

産婦人科では子宮頸・体部癌疑いで子宮内膜搔爬術を最も行なっています。

【眼科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K28210	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	85	0.00	0.00	0.00%	76.41

眼科では白内障手術を行なっています。

【耳鼻咽喉科】

K3772	口蓋扁桃手術(摘出)	18	0.94	6.28	0.00%	27.44
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術III型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	13	1.00	5.46	0.00%	55.77
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術(切除)	7	1.43	6.14	0.00%	72.71
K309	鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	7	1.00	1.29	0.00%	8.86

耳鼻咽喉科では口蓋扁桃手術を最も行なっています。  
次いで内視鏡下鼻・副鼻腔手術となっています。

【泌尿器科】

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき)	65	0.03	1.06	0.00%	60.45
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用のもの)	36	1.72	8.92	0.00%	73.00
K8036ロ	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	23	1.30	6.74	0.00%	72.04

腎結石や尿管結石に対し1泊2日で体外衝撃波腎・尿管結石破碎術を行なっています。  
次いで膀胱癌に対して膀胱悪性腫瘍手術を行なっています。

## 7.その他(DIC,敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

播種性血管内凝固、敗血症、真菌症、手術・術後の合併症の患者数と発生率を集計しています。

○播種性血管内凝固

感染症などによって起こる、全身性の重症な病態です。

○敗血症

感染症などによって起こる、全身性炎症反応の重症な病態です。

○真菌症

真菌による感染症です。

◇手術・処置などの合併症

手術や処置などに一定割合で発生してしまう病態です。術後出血や創部感染などがあげられます。

合併症は、どのような術式でもどのような患者さまでも一定の確率で起こり得るもので、医療ミスとは異なります。

DPCコード	傷病名	入院契機	患者数	発生率
130100	播種性血管内凝固	同一	0	0.00%
		異なる	19	0.33%
180010	敗血症	同一	29	0.50%
		異なる	57	0.98%
180035	その他の真菌感染症	同一	2	0.03%
		異なる	10	0.17%
180040	手術・処置等の合併症	同一	30	0.52%
		異なる	11	0.19%

医療の質の改善に資するため、臨床上少しでも改善すべきものとして定義される感染症および合併症の発症率を示したものです。当院においては入院契機と同一病名の症例が少なく、免疫力が低下している時に合併して発症するケースが多かったためと思われます。